

## 財団法人 叡哲奨学会 設立趣旨書

近年わが国経済の発展は著しいものがありますが、それに比し、精神面、文化面の発展は、ともすれば遅れがちのように見受けられます。その解決のためには、自主的精神に満ちた心身ともに健康な国民の育成を目的とする教育に持つべきことは言うまでもありません。

そして、進学率は上昇したとはいえ、社会の現状を見ますと、いまだに経済生活に余裕がなく、学業優秀、品行方正な前途ある幾多の青年が修学の希望を断念せざるを得ないのが実情であります。

辻本栄一氏は昨年、長男栄治氏を28歳の若さで亡くしましたが、かねがね故人から苦学している学生の現状について憂慮していることを何回となく耳にしておりましたそこで辻本栄一氏は、苦学生が修学に専心して、全能力を発揮させるような育英奨学制度を設けるため、私財、現金1億円と持株400,000株の寄付を申し出ました。

ここに故人の意志を尊重し、微力ながら社会に有用な人材の育成の一助とするために、財団法人の設立を発意するものであります。